

令和5年度 第2回但馬地域公共交通活性化協議会 議事要旨

日 時：令和6年2月7日（水） 13時15分～15時00分

場 所：養父市養父公民館 他産業就業研修室

次 第

1. 開会
2. 令和5年度の活動内容について
 - (1) 但馬地域公共交通計画の施策の進捗状況
 - (2) 共創モデル実証プロジェクトによる取組
3. 但馬地域公共交通計画の変更について
4. 令和6年度の活動内容（案）とスケジュール（案）について
5. 閉会

議事要旨

○主な意見

[令和5年度活動内容について]

委 員：「竹野駅ペイ」が好評だった理由はなにか。

事務局：観光協会によると、観光客だけでなく地域住民も利用しているとのことであり、利用増に寄与しているものと考えます。

委 員：地域住民の利用は興味深い。地元の飲食や目的地と関連付けることで、より効果の高い利用促進につながる。

委 員：養父市の関宮地区デマンド型交通実証実験について、既存の「やぶくる」と差別化した点はなにか。

事務局：今回の実証実験は、ドア to ドアの移動手段であるやぶくるとは異なり、乗降箇所が指定されていること、小さな拠点を目的地としていること、安価な料金体系としていること等が挙げられる。既存交通の様々な課題を踏まえ、補完する手段として実証実験を実施している。

委 員：豊岡市のキャッシュレス化実証事業について、観光客の利用割合や規模はどの程度か。

事務局：観光客の利用は、地域住民と比べて非常に少なく、地域住民の日常利用がほとんどを占めている。

委 員：観光客を一定のターゲット層とした中で、利用が少なかった点等検証していただければと思う。

[但馬地域公共交通計画の変更について]

委 員：事務局で最終調整し、朝来市におけるパブリックコメント実施後、

改めて最終案を協議会に諮る方向性で進めていただければと思う。

[その他]

委員：路線バスの運転士は減少・高齢化しており、現状でも足りていない中、今年の4月から勤務時間に係る規制が改正されることに伴い、さらに運転士が必要な状況となる。現状、市町と調整し、ダイヤ改正や減便等を行っている。移動手段確保・維持に向け、様々な分野と協力して、取り組んでいければと考えているため、今後とも協力をお願いしたい。

以上